

新型コロナウイルス感染症に対する取り組み
ポスト・コロナの世界のために

新型コロナウイルス検出試薬

PCR検査用の検査試薬が不足している状況を受けて、今年に入って新型コロナウイルス検出試薬キットの開発に着手。4月20日には、従来の約半分の時間で検査できる試薬キットを発売しました。これは、ノロウイルスの検査等に提供していた当社独自のAmpdirect™技術を用いたもので、従来のPCRに必須だったRNA抽出・精製工程を省くことを可能にし、検査時間を従来の約2時間から約1時間に短縮しました。また、鼻や喉の奥から採取する検体だけでなく、唾液中に存在するウイルスの検出も可能になるなど、検査時間の短縮と、医療従事者の負担軽減やコスト低減も実現しています。



分析用試薬で治療薬の開発を支援

フランスのグループ会社であるAlsachim SASは、新型コロナウイルス感染症治療薬の候補である6種の既存薬向けに安定同位体試薬を開発しました。この安定同位体試薬や、液体クロマトグラフ質量分析計をはじめとする分析装置によって、治療薬の開発に尽力する製薬企業や研究機関の支援に力を入れています。



※掲載内容は2020年6月時点のものです。

▼ <https://www.shimadzu.co.jp/covid-19/>

記事の詳細やその他のニュースは、こちらをご覧ください。このサイトでは、新型コロナウイルスの検出や肺炎の診断に貢献する当社の製品、治療薬の開発を支援するソリューションをはじめ、各現場に携わる社員の思いなども紹介しております。



回診用X線撮影装置

ベッドサイドやICU(集中治療室)で利用可能な移動型のX線撮影装置は、新型コロナウイルス感染症の肺炎診断に活用できるため、世界中の医療機関から装置を求める声が増えました。当社ではグループをあげて3月から増産体制を整え、従来の2倍以上の生産量を確保し、ひっ迫する医療現場への迅速な提供を続けています。また、すでに医療現場で稼働している装置についても、稼働頻度が急増している状況を踏まえ、メンテナンスやサポート体制を拡充しています。



島津テクノリサーチが
京都市衛生検査所に

国内のグループ会社である島津テクノリサーチが、6月に京都市から新型コロナウイルスのPCR検査を行うための衛生検査所として登録され、PCR検査事業を開始しました。新設した検査室に、リアルタイムPCR装置や遠心機など必要機材を設置。当社製の新型コロナウイルス検出試薬を使用し、1日当たり最大300件の検査能力を有しています。



新型コロナウイルスの感染拡大が、社会に対して前例のない被害をもたらし、人々の健康や生活を脅かすなか、いまだ多くの医療従事者や研究者の方々が最前線に立ち、事態の収束に向けて尽力されています。

島津製作所では科学技術の力を信じ、創業以来の「科学技術で社会に貢献する」という社是に則り、PCR検査キットをはじめとする当社の技術力を最大限に活用し、新型コロナウイルスと闘う皆様を支援するさまざまな取り組みを進めています。

また、5月には「知的財産に関する新型コロナウイルス感染症対策支援宣言」の趣旨に賛同し、発起人としてこの宣言に参画しました。同宣言は、特許権や意匠権などの知的財産権が感染症対策の障害となる場合には、権利行使を行わないことをうたったもので、効果的な対策がいち早く普及できることを後押ししています。